



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東
 コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大河原 泰
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 印部 修一（TEL）03(6736)5678
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	12,348	△12.6	688	△48.0	756	△43.5	△133	ー
2024年3月期第3四半期	14,122	8.1	1,322	147.6	1,337	124.4	888	80.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	△15.03		ー					
2024年3月期第3四半期	99.78		ー					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,920	6,405	58.7
2024年3月期	10,737	6,632	61.8

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 6,405百万円 2024年3月期 6,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	12.00	12.00
2025年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2025年3月期(予想)	ー	ー	ー	15.00	15.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	△15.1	500	△59.0	480	△62.1	△350	ー	△39.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想の修正につきましては、本日（2025年2月14日）公表いたしました「営業外費用・特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	9,105,290株	2024年3月期	9,105,290株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	200,292株	2024年3月期	200,192株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	8,905,024株	2024年3月期3Q	8,905,098株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無

法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年10月27日に当社千葉工場にて発生した火災により、お客様、お取引様、関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを謹んでお詫び申し上げます。

当第3四半期累計期間（以下「当第3四半期」という。）におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み緩やかな回復基調にある一方、世界的な原材料・資源価格の高騰や円安等による更なる物価上昇懸念、不安定な国際情勢の長期化等、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品・外食業界におきましては、消費者の節約志向が高まる中で、原材料価格や人件費、物流費の上昇による収益の圧迫が継続しています。こうした諸コストの高騰に加え、慢性的な人手不足の影響もあり、経営環境は厳しさを増しております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度(2024年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期は、主要顧客であったピザチェーンとの取引減少、および火災による一部製品休売の影響により、売上高は12,348百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は688百万円（同48.0%減）となりました。営業外収益に受取補償金、特別利益に投資有価証券売却益、国庫補助金受贈益を計上しましたが、火災による損失を営業外費用に73百万円、特別損失に1,086百万円計上したため、経常利益は756百万円（同43.5%減）、四半期純損失は133百万円（前年同期は888百万円の黒字）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

食品事業

食品事業におきましては、経済活動の正常化に伴う人流や消費活動の回復、インバウンド需要の増加等により、業務用分野は堅調に推移いたしました。一方で、小売市場における価格改定が続く中、消費者の生活防衛意識は一層顕著となり、食品スーパー、生協等の家庭用分野では食料品の買い控えや低価格志向が続く等、厳しさが増してきております。加えて、千葉工場の火災によりすべての業態において一部製品の出荷数削減および休売といった措置を行っており、売上面・収益面に大きな影響を及ぼすこととなりました。

このような状況下、業務用については主力である外食市場をはじめとした新規開拓を進めるとともに、アイテム拡充、展示会への参加等により既存取引先との関係強化に努めてきました。家庭用については惣菜・ベーカリー分野の強化、家庭用冷凍ピザの投入による市場開拓とともに、アイテム集約等を通じた収益改善を図ってまいりました。

また創業60周年を記念して、本格冷凍ピザ「THE PIZZA」2品に続き、北海道八雲町に新設した「八雲ピザ工房」で製造する、生地・トッピングにこだわったデルソーレ史上最高級の冷凍ピザ「HOKKAIDO PIZZA」4品を、高級量販店、自社ECサイト、デパート催事、ふるさと納税等で高付加価値商品として拡販に努めております。

マーケティング活動として、ピザ、ナン、ピタパン、フォカッチャ、トルティーヤといった「世界のパン」をWEB、YouTube、SNS等多様なチャネルから情報を発信することで、楽しい食文化や食体験を通して食のバリエーションを提供し、食卓を豊かにしたいという想いととも、市場の拡大を目指しております。

海外ビジネスについては、北欧リトアニアの海外パートナー企業との連携を深めヨーロッパの本格的な冷凍パンの販売を強化するとともに、アメリカ産冷凍チーズの販売も積極的に推進しております。輸出に関しては海外からの引き合いも増加しており、円安を追い風に取りを加速させ、今後は当事業の重要な柱として育成してまいります。

販売管理面では、売上規模に見合った在庫水準の適正化や、物流効率化の取り組み等を引き続き進めております。

この結果、当第3四半期の売上高は10,019百万円（前年同四半期比15.4%減）、特別損失で火災損失1,086百万円の計上もあり、セグメント利益は88百万円（同94.9%減）となりました。

外食事業

外食事業におきましては、オフィス立地の集客が回復しつつある一方で、原材料価格の高騰に加え、人手不足による採用コストの増加やパート時給の上昇等に加え、大型台風や猛暑による営業時間や来店客数への影響もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コロナ禍における変化対応で培った筋肉質なコスト構造を定着させつつ、既存店の更なる質の向上に取り組んでおります。具体的には食材ロス低減の取り組み、人員配置の最適化や在庫管理、家賃の減免等、徹底したコストコントロールを実施するとともに、テイクアウトブランドの強化による収益改善に引き続き注力してまいりました。特に「おめで鯛焼き本舗」を当社における成長ドライバーとして位置づけ、百貨店や商業施設への催事出店やフランチャイズ加盟活動を中心とした「守り」から「攻め」への転換を図るべく取り組んでおります。

当第3四半期は、11月に「おめで鯛焼き本舗ららぽーと立川立飛店」を、12月に「おめで鯛焼き本舗イオンタウン楽々園店」を出店しました。

この結果、当第3四半期の売上高は2,351百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント利益は224百万円（同215.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末（以下「当第3四半期末」という。）における総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）から182百万円増加し、10,920百万円となりました。流動資産合計は、売掛金が492百万円増加した一方、現金及び預金が196百万円、商品及び製品が94百万円それぞれ減少したこと等により、235百万円増加し6,603百万円となりました。固定資産合計は、有形固定資産合計が229百万円減少し、投資その他の資産合計が178百万円増加したこと等により、52百万円減少し、4,316百万円となりました。

(負債の部)

当第3四半期末における負債合計は、前期末から409百万円増加し、4,514百万円となりました。流動負債合計は、未払法人税等が199百万円、賞与引当金が99百万円減少する一方、火災損失引当金が735百万円増加したこと等により、401百万円増加し、3,135百万円となりました。固定負債合計は、長期借入金が45百万円減少した一方、退職給付引当金が17百万円、役員退職慰労引当金が22百万円増加したこと等により、7百万円増加し1,379百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期末における純資産は、前期末から226百万円減少し、6,405百万円となりました。配当金の支払106百万円及び四半期純損失133百万円の計上により、利益剰余金は240百万円減少しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月27日にて当社千葉工場において発生した火災の影響等により、当社は当第3四半期累計期間において、営業外費用及び特別損失を計上いたしました。また、2024年11月14日に「未定」として公表しておりました、2025年3月期の通期業績予想につきましても修正することとしました。

詳細については、本日（2025年2月14日）公表いたしました「営業外費用・特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,257,115	2,060,135
売掛金	2,844,330	3,336,642
商品及び製品	846,165	751,727
原材料及び貯蔵品	282,741	269,556
その他	138,362	185,907
流動資産合計	6,368,715	6,603,969
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,224,186	4,216,478
減価償却累計額	△3,051,073	△3,087,299
建物(純額)	1,173,113	1,129,179
機械及び装置	3,332,558	2,719,036
減価償却累計額	△2,272,175	△2,048,648
機械及び装置(純額)	1,060,383	670,387
その他	1,429,120	1,643,570
減価償却累計額	△478,033	△487,971
その他(純額)	951,086	1,155,598
有形固定資産合計	3,184,583	2,955,165
無形固定資産	11,209	9,479
投資その他の資産		
その他	1,174,239	1,358,920
貸倒引当金	△1,250	△7,234
投資その他の資産合計	1,172,989	1,351,686
固定資産合計	4,368,782	4,316,331
資産合計	10,737,497	10,920,300
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,520,987	1,665,502
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	253,357	53,993
賞与引当金	153,556	54,199
火災損失引当金	-	735,829
資産除去債務	32,400	-
その他	713,829	565,825
流動負債合計	2,734,130	3,135,350
固定負債		
長期借入金	150,000	105,000
退職給付引当金	558,781	576,293
役員退職慰労引当金	244,892	267,071
資産除去債務	378,103	382,340
その他	39,442	48,442
固定負債合計	1,371,219	1,379,147
負債合計	4,105,350	4,514,497

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	4,476,373	4,235,712
自己株式	△87,436	△87,489
株主資本合計	6,571,081	6,330,367
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,065	75,435
評価・換算差額等合計	61,065	75,435
純資産合計	6,632,146	6,405,802
負債純資産合計	10,737,497	10,920,300

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	14,122,645	12,348,452
売上原価	8,617,117	7,723,880
売上総利益	5,505,527	4,624,571
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,228,408	1,297,016
賞与引当金繰入額	35,341	35,795
退職給付費用	24,708	24,028
役員退職慰労引当金繰入額	24,036	22,179
荷造運搬費	1,007,191	839,793
その他	1,863,133	1,717,509
販売費及び一般管理費合計	4,182,820	3,936,322
営業利益	1,322,707	688,249
営業外収益		
受取利息	11	144
受取配当金	10,813	22,432
受取手数料	615	610
受取賃貸料	180	-
受取補償金	-	122,408
受取保険金	8,728	23
その他	7,675	7,851
営業外収益合計	28,024	153,471
営業外費用		
支払利息	2,626	706
貸倒引当金繰入額	-	5,984
支払保証料	5,094	5,094
工場閉鎖損失	2,859	-
操業停止関連費用	-	73,584
その他	2,353	316
営業外費用合計	12,933	85,686
経常利益	1,337,798	756,033
特別利益		
投資有価証券売却益	-	75,496
国庫補助金受贈益	-	80,000
特別利益合計	-	155,496
特別損失		
火災損失	-	1,086,727
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,710	4,769
固定資産除却損	2,608	-
特別損失合計	15,318	1,091,496
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,322,479	△179,966
法人税、住民税及び事業税	264,568	185,326
法人税等調整額	169,328	△231,492
法人税等合計	433,896	△46,165
四半期純利益又は四半期純損失(△)	888,582	△133,800

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(操業停止関連費用、火災損失及び火災損失引当金について)

2024年10月27日、当社千葉工場において火災が発生し、生産設備の一部を焼損した他、隣接する生産設備についても、消火活動等により損害を受けました。

当該火災により千葉工場の一部生産設備の操業が停止し、それに伴い、操業停止中の減価償却費、休業手当等を操業停止関連費用として、営業外費用に73,584千円計上しております。

また、被災した固定資産の除却損(305,076千円)、修繕費(764,058千円)等を火災損失として特別損失に1,086,727千円(火災損失引当金として見積計上した735,829千円を含む)計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	11,825,939	2,275,240	14,101,180
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	21,464	21,464
顧客との契約から生じる収益	11,825,939	2,296,705	14,122,645
外部顧客への売上高	11,825,939	2,296,705	14,122,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,092	3,579	15,671
計	11,838,031	2,300,285	14,138,316
セグメント利益	1,738,680	70,967	1,809,647

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,809,647
全社費用(注)	△487,028
棚卸資産の調整額	△139
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	1,322,479

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	10,008,718	2,316,182	12,324,900
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	23,551	23,551
顧客との契約から生じる収益	10,008,718	2,339,733	12,348,452
外部顧客への売上高	10,008,718	2,339,733	12,348,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,470	11,344	21,814
計	10,019,188	2,351,078	12,370,266
セグメント利益	88,015	224,142	312,158

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	312,158
全社費用（注）	△492,164
棚卸資産の調整額	39
四半期損益計算書の税引前四半期純損失（△）	△179,966

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	274,031千円	254,042千円